

1. 特に効果的であり改善に資した事例

D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化

③キャリアパス形成を支援するための体制整備や、社会的・職業的自立に向けた情報提供

③キャリアパス形成を支援するための体制整備や、社会的・職業的自立に向けた情報提供

《人社系》

●立命館大学国際関係研究科国際関係学専攻

「国際協力の即戦力となる人材育成プログラム」の事例

(具体的に何を実施したのか)

国際協力分野への人材輩出にむけた長期的な取り組みとして、平和構築キャリアセミナー、国際機関ワークショップ等の人材育成事業を行い、院生のキャリアパス形成を支援するための体制整備、情報提供を行った。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

平和構築キャリアセミナーでは、国際協力分野でのキャリア形成を希望する院生に有益な情報を提供すべく、研究機関や国際NGOのほか、マスコミ、政府関係機関など、多方面から招いた若手を中心とする講師に、自身の職務やキャリア・パスについてお話頂いた。毎回多くの院生が参加したため、院生と講師との質疑応答に時間を割いた。国際機関ワークショップでは、実際に国際機関で勤務した経験を持つ教員が直接指導を行い、今後の学修に関するアドバイジング等を実施するとともに、実際に開発の現場で活用されているPCMの実習を行うなど、の取り組みを行った。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

当該情報提供を通じて、実際に、国際援助機関やNGO、社会的企業の現場で活躍する修了生を輩出できた。また、研究科としてもそういった修了生を招いて実施するキャリアセミナーを継続して実施することとしており、今後の研究科が実施するキャリア形成支援の一層の充実に寄与するものとなった。

《理工農系》

●大阪大学理学研究科数学専攻

「数物から社会に発信・発進する人材の育成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

キャリアパスセミナーの名称で、企業、高等学校、官庁などの現場で働いている、数学、物理学出身の人々に、専門の学問をどのように職業に役立てていけるかを講演してもらった。講演の後には自由討論の場を設け、学生がより直接情報を得られるよう工夫した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

数学、物理学を専攻した学生が進む進路は多岐にわたっている。これらの職種をできるだけ広く集めるようにした。具体的には、メーカー系の企業に偏らず、保険金融など最近理系の人材を必要としている部門、伝統的に数学専攻の学生の就職先であるが、現場の状況がわかりにくい教育界、数理部門での採用を継続している国家公務員などを網羅するように心がけた。またこれらの業種が博士修了の学生を採用するように様々な回路で働きか

1. 特に効果的であり改善に資した事例

D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化

③キャリアパス形成を支援するための体制整備や、社会的・職業的自立に向けた情報提供

けを続けた。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

学部卒の学生と異なり、博士課程の学生は就職に関する情報は、アカデミックな部門以外では、接する機会が少なかった。キャリアパスセミナーは貴重な機会であり、多くの学生が積極的に参加し、質問なども活発に行われた。学生の進路指導の際にも大いに役立った。

●奈良女子大学人間文化研究科物理科学専攻、複合現象科学専攻

「理系の実践型女性科学者育成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

博士前期課程において「女性先端科学者セミナー」なる授業科目を開講した。これは女性の実務家、研究者等を招聘し講演してもらう。その中で、業務に関する話だけではなく自らの就業から現在に至るキャリアパスについて出産、育児、介護等の経験も含めて話をしてもらった。授業後には講師との懇談を設け学生への情報提供の場とした。また聴講報告書を提出させ学生が何を学んだかを自省させることとした。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

講師には女性特有の体験と仕事との兼ね合い・両立の方法を関連させて話してもらうよう留意した。

キャリアパスの話は分野を問わず、あるいは博士前期、博士後期の別を問わないことが多いので、多様な学生が聴講できるよう講演内容に配慮してもらった。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

女子学生の場合、就業後のキャリアパスに不安を抱く割合が高く、そのことが大学院への進学率にも影響していると考えられる。そのため実際のロールモデルを知ることができることは学生に大いにプラスとなるようである。そのことは学生アンケートと報告書の内容から判断される。